

目黒清掃工場だより

第1号
(通算：第39号)

令和5年7月3日発行



発行元：東京二十三区清掃一部事務組合 目黒清掃工場
 住所：〒153-0062 東京都目黒区三田二丁目19番43号
 TEL：03-5708-5314
 HP：https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/



工場長あいさつ



目黒清掃工場長と緑化された工場エントランス

令和5年3月15日にしゅん工した目黒清掃工場の工場長に着任した杉原（すぎはら）と申します。地域の皆さまには、日ごろより当工場の運営に関し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

目黒清掃工場は、旧工場時代から長年に渡り築いてきた地域の皆さまとの信頼関係があります。この関係を今後も継続できるよう、全職員が一丸となって工場の安全で安定した操業に取り組んでまいります。

また、目黒清掃工場の建替工事の際には、地域の皆さまに親しまれている緩衝緑地も整備し、緑豊かな木々を備えた緑地としてリニューアルオープンしています。「地域に溶け込み、親しまれる清掃工場」を目指し、9月からは新工場の見学会（予約制）も開始いたします。緩衝緑地とあわせ、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

搬入物検査について

目黒清掃工場では不適正搬入を防止するため、定期的に搬入物検査を行っています。区収集車両や持込車両が搬入したごみの中身を確認し、不適物が混入していないかを検査しています。6月16日の検査では、一部の車両から空き缶やベッドパッドなどの不適物が見つかりました。皆さま



粗大ごみ怪獣キング・ソータイ

に安心していただきながら清掃工場を安定稼働させるためにも、ごみの分別にご協力いただきますようお願いします。



① 搬入物検査の様子（写真①）
搬入されたごみを広げて中身を確認しています。



② 今回見つけた不適物（写真②・③）
空き缶やベッドパッドなどが見つかりました。



工場紹介

新しく生まれ変わった目黒清掃工場の一部をご紹介します。

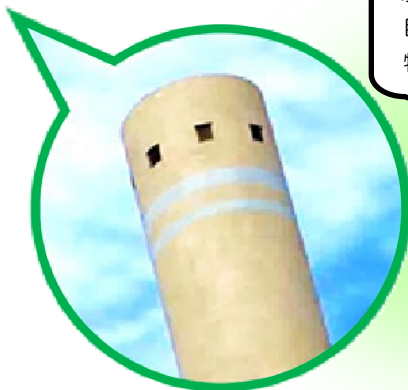
煙突

有害物質やにおいを取り除き、きれいにした排ガスを煙突から大気に放出しています。

気温が低い日に見える白い煙は、水蒸気の水滴が光に反射したものです。



煙突 (全体像)



煙突 (先端)

水色の二本線が目黒清掃工場の特徴だよ！



くみちゃん

ごみバンカ・クレーン



ごみクレーン

ごみバンカは、清掃車が搬入するごみを一時的にためておく場所です。目黒清掃工場のごみバンカの大きさは、幅が約39.5m、奥行が約17.7m、深さが約17.2mあり、容積は約12,000m³になります。これは25mプール27杯分と同じくらいの容量です。

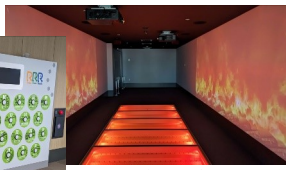
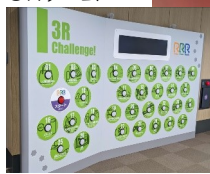
見学コーナー

見学は9月から予定しています。



清掃工場のお兄さん

3Rゲーム



焼却炉内疑似体験

焼却炉内の様子を熱風や映像によって再現した疑似体験や、リユース・リデュース・リサイクルの仕分けをする3Rゲームなど、見学者が楽しくごみ問題や清掃工場のことを学べるユニークな仕組みをご用意しています。
※ 見学は事前予約が必要です。

プラットホーム

清掃車がごみバンカにごみを投入するエリアをプラットホームといいます。

プラットホームの出入口には、シャッターやエアカーテンなどの様々な工夫により、臭気が外部に漏れない対策をしています。



プラットホーム

緩衝緑地

清掃工場敷地内にある緩衝緑地により、騒音などを抑えます。

緩衝緑地内には子ども広場があり、砂場や滑り台などの遊具を設置しているため、毎日たくさんの方が訪れています。



不燃ごみ怪獣フーン



緩衝緑地



子ども広場



可燃ごみ怪獣カーネン

目黒清掃工場だよりは、平成29年3月14日付第38号をもって発行をお休みしておりましたが、新しい目黒清掃工場のしゅん工を機に再開します。復刊号は気持ちを新たに「目黒清掃工場だより 第1号 (通算第39号)」としてお届けします。これから、工場について少しでも親しんでいただけるよう、工場の操業状況や様々なトピックスを地域の皆さまに情報発信してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

目黒清掃工場職員一同